

きゅふちやーとらっふ

～パチュリー・ノーレッジ～



DOJIN
R18
EAST
199907
MA 00002



数日前
私のもとに届いた
一通の手紙・・・
そこには最重要機密情報
が記されていた。



人間の住む町の路地裏で
ある商品の闇取引が
行われている・・・らしい

とうとう
あの伝説の本が

私のものに...



ここねっ

OPEN

CAFE

チリン

OPEN

CAFE



いかにも悪人間的な男の顔が描きだかつたんじやい

おめえらっ
ダメだっ!
まだ手を出すな!



ちよ

かぶせ
ちまえ!

いまだっ!



わたしに勝てるの?
おもってるの?

・・・あなた達
始めからセクハラ目的で
呼び出した訳?

ギロ

ト

この程度の不意打ちで私を捕まえようなんて詰めが甘いわ



大方片付いたようね

こんな嘘情報に振り回されるなんて私もどうかしてたわっ



あなた達にはそれ相応の罰を受けてもらうわっ



さああなたの番よっ!

覚悟しなさい!

まっ 待ってくれ!

ゴゴゴ



魔法が不発?
ってことは



痛…





ガキーン

ちよっ!?

一時はひやっと
しましたが
アホで助かったぜ

手錠?



あ...あ...
まさか?!

あの紅茶に薬を?
う...



多少の犠牲は
あったが...
まあいい
捕獲成功だな

嘘っ!
魔法が使えない...?
どうして...?
こいつ...一体何を?
結界の気配もないし...



対魔法使い用の薬…
つとなると
今の私力では
この男には勝てない…

んじや、早速
今日の収穫の
味見でもするかな…
フヒツフヒビ



こうなったら…
一か八か…

いい加減に
してよ!

んっ…

ガツン



痛

今のうちに
外へ!

くっくくく
面白い…
だが、逃さねえぞ



頭突きが
効いてる!

フッ



くっ



んあああ



これは
キツイ教育が
必要だな

くっくくく
惜しかったな

う...う...

ガッ
ガッ



二度と逃げようなんて
思わねえように
鞭で教えてやる!

ひゃああ



あああああ
あああああ

っち…
そういや部下を
散々痛めつけ
られたんだったな



びしょ…

おまえには
それ相応の罰を
受けてもらわないとな



このままでは
こいつらに
何されるか…

はあ…
はあ…

なんだ？
もう限界か？

誰か…
助け…て…



フラ



おい起きろ…
これを飲んで
もらおうか

さあ飲め！
全部だ！



うあああ…

くあ

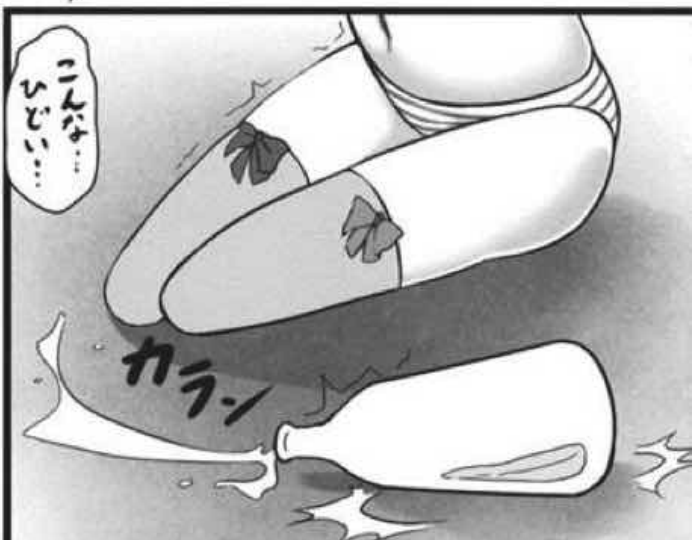


それじゃあ
さっきの続きを
しようか



今のは特別性の
媚薬だな…
抗う気なんて
これっぽっちも
起きなくなるぜ

ゲッ
ぐわあ



こんだ…
ひじい…

カラッ



う...
体が熱い...

トッサ
キヤ



これが薬の効果?
嫌...
こんな状態で何かされたら
私...

一刻も早く
ここから脱出しないと...

んっ!?



こいつ...
ここで、噛みついて
やれば...



まずい...呑まれる
そっそこを触っちゃ...





くくく…
噛みついたら
鞭どころじゃ
済まさねえぞ

う…ははっ
積極的じゃねえか
いいぞ…う…

ホムッ



ひ…

そろそろ
しやぶって
もらおうか



くっ
だっ出すぞっ

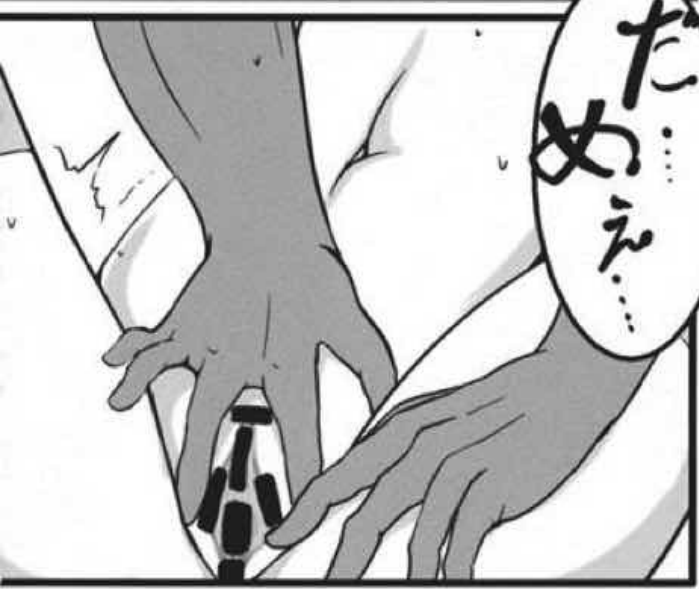
私…
惨め過ぎる…
あの時、魔法が
発動さえしていれば…
こんな事には…

ビク

ふっおお
ううう…



チュパ





嫌...許...許...

ちまちま
待って

もう十分だな
力抜けや

暴れんなよつ
痛い目にあいてえのか?



既にぐしよぐしよ
じゃねえか

ガク

ガク



あひあ
あぎ
あ

ビク

ビク

ズブ

ズブ



やあ
ああ

はあ
はあ

はあ
はあ
やめて

はあ
ああ

あ...か...
き...ちゃう

びび

じゅっ

ぱっ





あぁあぁあぁあぁあ
あぁあぁあ

うぐ...

びん

びん

ひぐ
うぐ...



はあ...
はあ...

っち...もう
いつちまったのか

びん
びん

びん

夫







なんだ？
今更抵抗したって
無駄だぜ？



もっめ
あひゃあひゃあ

もっめ
あひゃあひゃあ

はあ

いやいや



ムッ

ムッ

ムッ

ムッ

びあああ



はあ
はあ

ひう?
ひう?
ひう?

今日はこれくらいに
しておいてやるよ...
お前の買い手がつくまで
毎晩よろしくな

う...
う...

ガク

ガク

ガク

ここから
オマケ

もう
入れちゃ
だめえ
嫌あ
ひほ

や
はん
ん

だめ
だめ
えええ

ビッ

ブル
ブル
ブル
ブル

ビッ

パチュリー
地下調教室Lv1
ローター責め





自動駆動のクレーンに引かれて強引に移動させられる抵抗するが、意思に反して股縄が恥部を滑る

あ...
はあ... はあ...
止まって...
あ

パチュリー
地下調教室Lv2
クレーン式股縄mk2

パチュリー
地下調教室Lv3
三角木馬&羽箒くすぐりの刑



もう...
やめて...
あ...
あ...

は...
は...
ひ...
あ...
あ...

ビク

ガク
ガク

イル
イル

ビク

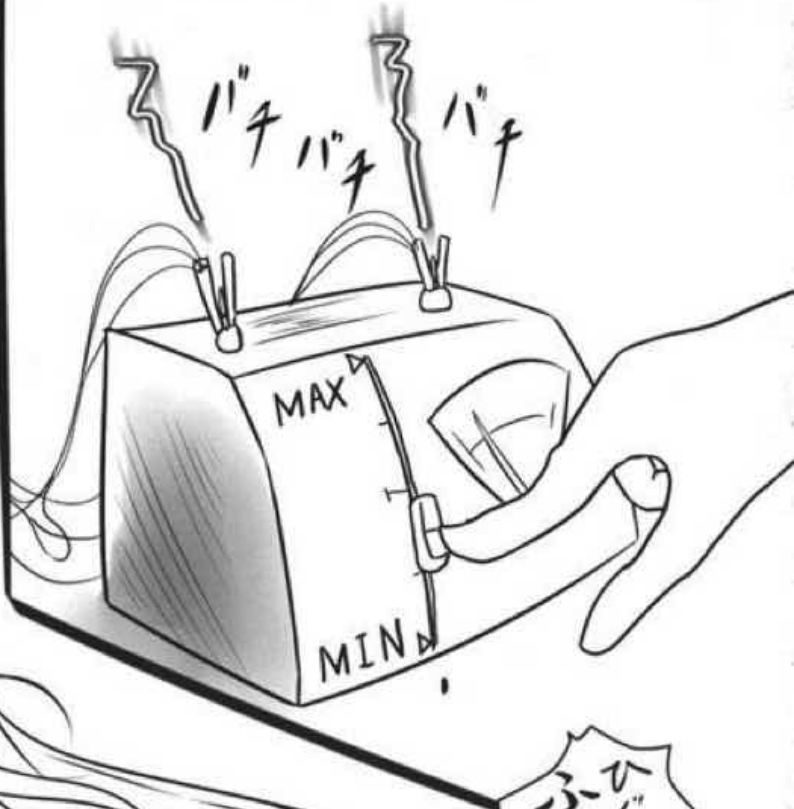
ビク

ガク

ガク



ガクガク



MAX

MIN

バチバチバチ

ひびく
ぶくぶく
おあおあ
びびん

ビッ
ビッ

おあおあ
おあおあ

びびん
びびん

ブルブルルル

ビーン

パチュリー
地下調教室Lv4
電気責め



え・・・えっ!
ここは...大図書館?
どうしてここに...



そんなに大きいの...
入らな...ん...ん?



もしかして
これって...夢?
でもそれを確かめる方法は...
ん?

ポロッ

ハチュウ一編
お物のところ
大図書館で
その類は山やめたり
思いと想います 咲夜

～あとがき～

いつもお世話になっております。モニカノです。

この本を手にとっていただき、ありがとうございます。

本ページは、この本を作るにあたっての所感？的なものを記載しました。

お時間がある方は、もう少しお付き合いいただけたら幸いです。



◆作品の反省

・各ページの衣装やいろいろと統一できてません。

大目に見てください……。

・霊夢同人誌描くと宣言しましたが、平然と裏切りパチュリー本となりました。霊夢期待されてた方、申し訳ない…。

震災でデータは消えるわ、同じものを描く

モチベーションは無いわで、大変だったのです。(言い訳乙)

・拷問装置を期待してきた皆様、申し訳ありません。

そう思って、おまけを描いたつもりでしたが

物足りないですよね。そうですよねえ…。

◆創作の感想

2011年に入り、生業が想像以上に多忙となり、データは消えてボロボロな状態でGWを迎えて、夏コミ原稿は時間との闘いとなりました。更に、計画性の無さが災いして、内容はまとまらず、ページは膨張し続け、自分の首を絞める日々でございました。といっても、前回のうどんげ同人誌の時よりは効率的に作れたんじゃないだろうか？……そうでもないか。

◆内容について

どんな内容にするか、悩みに悩んだんですが、結局はスタンダードな凌辱ものになっちゃいました。機械ものにしようかって思っはいたんですが、案が浮かばなくて……。

「本来なら勝てる相手に、何等かの要因で負けて犯られるヒロイン」が描きたくて、前置きがに力をいれようって思ったら、ボリュームばかりが増し増しになっちゃいました。まあ、描きたいものが描けたんだから、これはこれでいいか。

◆おわりに

最後までご覧いただき、ありがとうございました。

今後もがんばってまいりますので、よろしくお願い致します。



原作：上海アリス幻楽団様

発行日：2011/08/13

発行：もなかうどん/モニカノ

HP(Blog) : <http://monikano.blog43.fc2.com/>

Pixiv : <http://www.pixiv.net/member.php?id=242010>

印刷：ねこのしっぽ

※無断転載複製を固く禁じます

※18歳未満の所持・閲覧を固く禁じます